



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第430号

発行所／(一社)静臨技涉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稻川1-1-15 ヴィラセーユー稻川207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026年1月1日

1月号の内容



- | | |
|------------------------------|-------|
| ◆ 年頭にあたって | P1 |
| ◆ 減塩・低カロリープロジェクト 開催報告 | P2 |
| ◆ 第42回 静岡県臨床検査精度管理調査報告会 開催報告 | P3 |
| ◆ スタートアップ研修会 開催案内 | P4 |
| ◆ 第13回静岡県医学検査学会 開催のお知らせ | P5 |
| ◆ 会員投稿 | P6 |
| ◆ 静臨技学術部より重要なお知らせ | P7 |
| ◆ 臨床検査関連研修会 | P8-23 |
| ◆ 行事予定 | P24 |

年頭にあたって

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
会長 羽切政仁

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

会員の皆様におかれましては、晴れやかな新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

地臨技ごとに開催してきた日臨技主催のタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会も今年で一つの区切りとなりそうですが、医療を取り巻く環境がますます変化していく中で、私たち臨床検査技師においても多様な対応が求められており、その一つがこのタスク・シフト/シェアへの取り組みであります。限られた医療資源（人材）の中で新たな業務に向き合うことは容易ではありませんが、職域が拡大する可能性を前向きに捉え、専門性の幅を広げていくことは、今後の医療提供体制において極めて重要であると考えられます。当会といたしましては、引き続きタスク・シフト/シェアに関する情報提供に努め、会員の皆様が職域拡大を図る上での一助となれば幸いです。

さて、令和7年においては、学術部主導の下、研修会および精度管理調査の企画実行を担う実務員への対価となる行動費のベースアップ、ならびに参加者の利便性向上を目的とした研修会管理システムの導入を実現いたしました。一方、実務員の継続的育成を目的とした仕組み作りにつきましては、今後の重要課題として引き続き取り組んでまいります。

また、行政および関連団体との災害協定については、組織部主導の下、年度内の締結を目指し、鋭意調整を進めていることをご報告いたします。

さらに次年度には、広報部主導の下、会員の皆様がより利用しやすいホームページへの刷新を予定しておりますので、ご期待いただければと存じます。

結びに、会員の皆様にとって実り多き年となる事を祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

令和8年元旦

減塩・低カロリープロジェクト 開催報告

2025年11月30日（日）浜松市医師会館にて開催されました。今年は、定員66名に対し倍以上の予約があり、抽選となるほどの人気の企画となり、市民の健康に対する意識が高まっていることを感じました。一般参加者（約60名）に対し、血圧測定、血糖検査、尿中ナトリウム・カリウム測定を行いました。参加した技師からは、「患者さんに接しているようで接遇の勉強になった」「他の病院の技師と話をして交流を持つことができ、貴重な機会であった」と感想を聞くことができました。



第42回 静岡県臨床検査精度管理調査報告会 開催報告

静岡県精度管理委員会 統括 村越 大輝（静岡県立総合病院）

昨年12/6（土）に開催された静岡県臨床検査精度管理調査報告会におきましては、総勢79名（会員72名、賛助会員5名、非会員2名）の方にご参加いただき誠にありがとうございました。

数年ぶりの現地開催でしたが、大きなトラブルもなく無事に終了することができ、会員の皆様、運営を担当した精度管理委員、静臨技理事の皆様には心より感謝申し上げます。

第42回の精度管理調査への参加施設数は126施設であり、多くの施設にご参加いただくことができました。静岡県の精度管理調査は、日本医師会の大規模精度管理調査を補完することを目的としており、特に地域サーベイの特色を生かして生試料を利用することでより実践的な調査を心がけています。報告会の各分科会にて交わされた討論内容は、しっかりと来年度調査へと繋げていきたいと考えています。

ご参加いただいた皆様におかれましても、各部門の委員より報告のあった検討結果を各施設のスタッフに伝達いただき、静岡県全体の精度管理の向上に繋げていただくようお願い申し上げます。

なお、オンデマンド配信は2026年1月31日（土）まで配信を予定しております。静臨技HPより閲覧可能となっていますので参加登録されている方はご覧いただきますようよろしくお願いいたします。

今後とも、静岡県精度管理調査へのご参加、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



スタートアップ研修会 開催案内

生涯教育研修・一般教育研修課程：基礎教科 20 点

行事コード【250024463】

テーマ	学会発表の楽しさを知ろう！ そして 横の繋がりを作って帰ろう！
開催日時	2026年2月28日（土） 12時～16時
会場	静岡県静岡市葵区七間町4-3 ARTIE 3階「Bolo」
内 容	<p>受付開始 11時30分～</p> <ol style="list-style-type: none">オリエンテーション（知り合いになろう）講演（学会発表の楽しさを知ろう） 『学会発表のすゝめ』 静岡県立総合病院 村越大輝 技師講義（技師会活動を知ろう）レクリエーション（横の繋がりを作ろう）
備考	オリエンテーションでは少し身体を動かしますので なるべく動きやすい服装でご参加ください。
申込期間	2025年1月1日～2025年1月31日
申込対象	入所後5年目までの静臨技会員
申込定員	45名
申込方法	<p>下段のイベントURLへログインして事前参加登録をお願いします。</p> <p>※メネルジアシステムの利用が未だな方は新規登録をしてください。</p> <p>※メネルジアシステムの使用方法は静臨技HPを参照してください。</p>
イベントURL	<p>https://event.menergia.jp/events/01KC3Q1ZDNPEY26GB3S792MZKW</p> 
参加費	静臨技会員 5,000円 ※静臨技非会員の方は会員登録をお願いします
問い合わせ先	(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会 組織部長 市川佐知子 TEL: 054-287-6337 E-mail: samtjim@samt.or.jp
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

第13回静岡県医学検査学会 開催のお知らせ

開催概要

【開催日】 2026年6月13日（土）午後

【開催場所】 あざれあ大ホール（Web配信も検討中）

【主 催】 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

学 会 長： 高橋 詩帆（静臨技 副会長）

実行委員長： 岩崎 佐知子（静臨技 東部支部長）

演題募集

会員の皆様から演題を広く募集します。

若手の皆様へ、今後の本格的な学会発表に向けての登竜門として、積極的にお申し込み下さい！

【演題申込期間】 2026年2月1日（日）～ 2026年3月1日（日）

【演題申込方法】 静臨技ニュース2月号にてご案内いたします。

焼津市立総合病院 患者支援センター 地域医療連携室 松浦 裕

検査技師になって 35 年経ちます。最初に病理検査に配属され細胞検査士を 3 年かけて取得し、15 年病理検査でお世話になりその途中で血液検査を 1 年経験しました。その後、細菌検査、一般検査に 19 年、採血室に 1 年所属しました。今現在は、患者支援センター地域医療連携室に所属しています。仕事内容は地域の開業医先生方への訪問が主な業務でこれが病診連携、医師会、市役所との連携事業、地域住民への当院の広報活動、病院の講演会や広報誌の作成、患者さんのクレーム対応などを行っています。病院でこのポジションは社会福祉士か保健師、事務職員の方がほとんどだと思います。臨床検査技師が担当している病院は少ないかもしれません。

初めての部署異動で 58 歳になっても毎日緊張しながら通勤しています。この仕事に就任してみて思った事です。まず、事務仕事は大変です。書類は書けないし、書き方も知らないので苦労します。書類は入所 2 年目の息子と同級生くらいの職員に添削してもらひながら作成しています。まったく違う部署なので顔ぶれも違います。でも幸いにいい人たちばかりなので気持ちよく仕事をさせていただいています。連携する部署も全ての事務部また看護部、診療技術部、一番主なのは医務部です。

私の武器はと考えてみると、35 年病院にいることと検査技師であることです。事務部、医務部は異動があるので 35 年間病院に所属している人はいないので私の方が病院と職員に詳しい。看護部、診療技術部はずっと病院にいる人がいるけれどほとんど知り合い。ましてや 35 年いるとほぼ一番年上。それと、検査技師として働いて培った知識（たいしたことはありませんが）が、当院医師や開業医との会話で役に立ちますし、開業医先生方への病院の広報のための説明にも役立ちます。やってみると働きやすい職場でした。

この仕事を始めて、あらためて分かったことは、コミュニケーションが大事だということです。分からず屋との意見交換や研修会などで発言するとき、（技師会も含めます）または、仕事で医師、看護師などの職員と話をするときなど多くあります。こちらから話をしにいかないと進まないこともあります。人への取りかかりは、ただ面白い話をするだけでもいいと思います。そのうち仕事で絡めば一回も話をしたことがない人の話よりも聞いてくれます。とりあえず会話をする、その繰り返しです。苦手でもやってみましょう。病院職員は医師も含めて病院スタッフです。先生ではなく全ての人をスタッフと考えて遠慮しないでどんどん攻めましょう。勉強したことに費やした時間（いふほど費やしてませんが）とそれで得た知識は今では私の武器になっています。学術部開催の研修会にたまには出席してみましょう。新人の方は 2 月にスタートアップ研修会があります。楽しい研修会なので是非参加してみてください。検査技師で仕事を長くやっているとなんとなく医療の事は分かってきます。検査技師が医師の次に病気のことを理解しているのではないかと思います。そのため検査技師の仕事にはまだまだ発展性があります。1 つに固執しないで様々な検査を知ることも考えて日々仕事をしたら楽しいかもしれません。

最後に、私のこれからの目標は、定年が延長されたので 60 歳すぎたら「あいつとは働くのは、面倒くさい」と言われない働き方をしていくことです。いろいろありますが、できる事を模索しながらもうちょっとがんばります。みなさんもがんばってください。どこかでお会いしたら声をかけてください。



静臨技 学術部より重要なお知らせ

新システム「Menergia（メネルジア）」導入と説明について

※本システム導入により従来、研修会参加申込時に行っていた JAMT システムからの参加申込登録は不要となりました！！

研修会検索は、JAMT 会員専用ページから検索せず、研修会・学会検索 事前申込から検索し、研修会開催案内 PDF を開示 ⇒ イベント URL から参加申し込みを行ってください。

(会員様側の導入メリット)

① オンラインで簡単決済（クレジットカード支払いが可能となります！）

※従来では研修会参加申込後の参加費振込は、金融機関 ATM などに足を運び入金していました。その際、手数料も自己負担で発生していました。クレジットカード払いの場合、手数料の発生がなくなります。

② 研修会参加領収書発行が任意で出力可能

※Web 型研修会に参加し参加領収書を希望する場合、運営者側へ申し出る必要がありましたが、いつでも領収書ダウンロードが可能となります。

③ イベント参加履歴や開催予定の一元管理可能

※参加予定イベントや研修会内容の確認がメネルジアマイページからすぐに閲覧可能です。

【重要！】 会員様向けシステム利用について

静臨技では 6 月以降開催案内する研修会から、新システム「メネルジア」を使用しております。会員様向け研修会参加登録手順は、静臨技ホームページに掲載されていますのでご参照ください。

なお、研修会参加申込についての手順等について、ご質問のある場合には下記連絡先へご連絡下さればご対応致します。

(連絡先)

静岡県臨床衛生検査技師会 学術部長 原 宜紀

Mail : kensa-hara.smz@shizuokakouseiren.jp

研修会終了報告

事業名	令和7年度 第2回臨床一般部門研修会
開催日	2025年11月9日
会場	静岡医療科学専門大学校
参加人数	14人
内 容	<p>今回は、静岡医療科学専門大学校にて部門員が講師となり尿沈渣標本を扱った実習形式の研修会を開催しました。</p> <p>前半は赤血球、白血球、上皮、異型細胞、円柱類等の尿沈渣成分の解説を行い、鏡検時のポイントについて解説しました。</p> <p>後半は用意した尿沈渣標本を各種成分ごとに分類したものを自由鏡検するという形式で実習を行いました。</p> <p>静岡県では、尿沈渣の実習型の研修会を行ったことがあまりなく準備等不安な点も多々あったが、満足度は92%（大変満足66%、やや満足25%）と高かったです。参加者の方から、直接ご相談をいただき各施設の業務のお悩みも伺うことができ、対面式で行うことの意義を改めて感じました。</p> <p>今後も継続して実習形式の研修会を行っていきたいと思います。</p> 

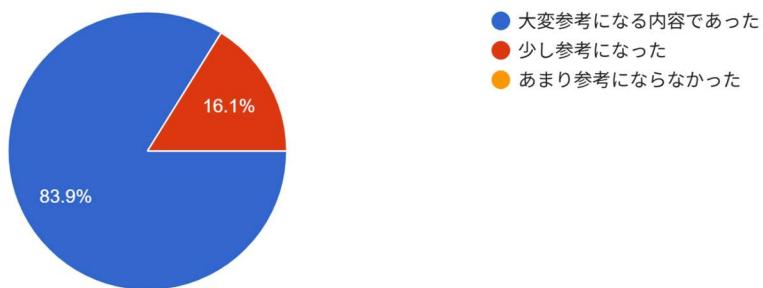
研修会終了報告

事業名	令和7年度第1回 臨床微生物部門ハイブリット型研修会
開催日	2025年11月22日（土）14:00～17:00
会 場	静岡県産業経済会館+Web会場(Cisco Webex)（事前登録制）
参加人数	43人
内 容	<p>『テーマ』アウトブレイクがおこらないために私たちができること</p> <p>【研修会内容】</p> <p>今回は、ハイブリッド型研修会での開催となった。</p> <p>医療法改正により検体検査の精度保証が義務化されたことを背景に、精度管理への関心が高まっている現状が示された。精度管理は検査結果の品質を担保するための取り組みであり、ISO15189をはじめとする国際規格や微生物検査に関する基準、精度管理の実践について解説が行われた。</p> <p>病院における感染対策指針の策定や院内感染対策委員会の役割、多職種連携と微生物検査技師の立場から見た課題、AMR対策アクションプランについて説明があり、薬剤耐性菌の現状と臨床的位置づけについての講演が行われた。</p> <p>【講演1】『微生物検査の精度管理について (ISO、CLSI、関係法規からの学び)』</p> <p>島津ダイアグノスティクス(株) 学術部 岩脇 研次 氏</p> <p>医療法では、検査を実施する際の精度確保のため、標準作業書や作業日誌・台帳の作成、内部・外部精度管理、研修の実施などが定められている。また、ISO15189では施設の技術能力が認定される。</p> <p>EUCASTやCLSIは微生物検査におけるMICやブレイクポイントを定めており、薬剤感受性試験を実施する際に重要な参考資料となる。特に最新版での評価が必要であり、その閲覧方法についても紹介・解説があった。さらにISO20776による感受性試験および試験機器の性能評価規格についても解説があり、精度管理の実践として菌株の管理方法や内部精度管理の具体的手法が示された。</p> <p>【講演2】『アウトブレイクおこらないために私たちができること』</p> <p>講師:浜松医科大学医学部附属 感染制御センター 古橋一樹 先生</p> <p>医療機関における感染対策の目的は、院内での感染症発生を未然に防ぎ、発生した際にはその拡大を阻止することである。そのためには、院内感染対策委員会(ICC)や感染制御チーム(ICT)による組織的な体制が不可欠であり、多職種がそれぞれの役割を担いながら継続的に活動することが基盤となる。</p> <p>感染対策はICTやAST(抗菌薬適正使用支援チーム)だけでなく、病院に関わるすべての職員が取り組むべき課題である。また、院内のみならず地域連携の重要性も強調され、院内感染対策地域支援ネットワークの意義や役割についても理解が深まった。</p> <p>薬剤耐性菌(AMR)は世界的に深刻化しており、治療困難や死亡率上昇を招く重大な問題である。不適切な抗菌薬使用(薬剤選択・投与期間)、カルバペネム耐性菌などの早期検出体制、耐性菌持ち込みのリスクなど、多くの課題が存在する。これらに対応するためには、地方自治体との連携、情報発信、地域の現状把握と共有を基盤とした地域連携体制の強化が必須である。さらに、知識の底上げと人材教育の推進が求められる。微生物検査技師は、多様な耐性菌に対し迅速かつ正確に感受性検査を実施し、臨床医およびICTに適切な情報提供を行うことが求められ、早期の対策に貢献することができる。そのためにも、技術と知識のさらなる向上が必要であると感じた。</p>

【講演 1】 微生物検査の精度管理について

講演内容について

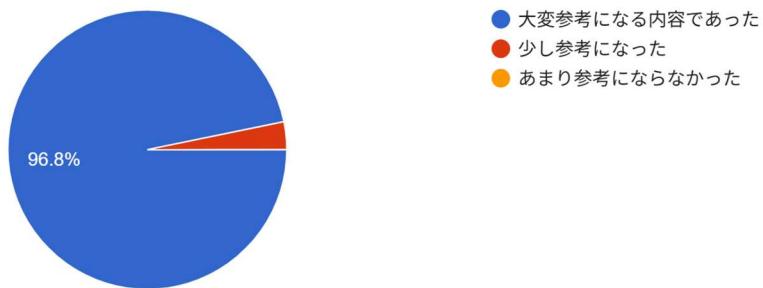
31 件の回答



【講演 2】 CPE 耐性菌と感染制御について

講演内容について

31 件の回答



ご意見 13 件の回答

- このような研修の機会をいただき、ありがとうございました。
臨床の現場のお話を聞くことができ、とても勉強になりました。また参加させていただきたいです。
- 現在、内部精度管理に苦慮しているところで、大変参考になりました
- 研修お疲れ様でした。久しぶりに対面での勉強会に行って微生物の仲間に会いたかったのですが、所用がありまして、Web で参加させていただきました。今は、感染対策加算 3 の病院で、微生物検査が外注なので、思うように出来ないことが多いですが、今日の研修会に参加して微生物検査技師としての感染管理を実践していこうと改めて思いました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
- 有意義な会でした。最後の質問コーナーの質問者の質問がほとんど聞こえなかつたので、聞こえるといいなと思いました。
- 研修お疲れさまでした、参考になりました。web で研修受けさせていただきましたが、質疑応答の際の質問者の声の聴こえが悪かったので次回開催時は聞こえやすいよう改善していただけるとありがたいです。
- この度はありがとうございました。次回研修会も楽しみにしております。
- 充実した内容でした。音声が聞き取りにくい時がありました。

研修会終了報告

事業名	令和7年度 第2回生物化学分析部門研修会
開催日	2025年12月10日
会場	Webex (Web開催)
参加人数	25名
内 容	<p>【研修会内容】</p> <p>脂質検査について学ぼう</p> <p>～ small dense LDL-コレステロールとは？～</p> <p>デンカ株式会社 学術部 小林 亘様</p> <p>脂質の基礎から動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版の主な改正点、small dense LDL-コレステロール（超悪玉コレステロール）についてご講演をいただいた。ガイドラインの改正Pointとしてトリグリセライド（中性脂肪）の随時採血時の基準値が設定されたことが大きな改正点になるであろう。従来の空腹時採血の150mg/dLに加え随時採血の175mg/dLが追加になった。</p> <p>small dense LDL-コレステロール（超悪玉コレステロール）は日本国内で初めて体外診断用医薬品として2021年11月に製造販売承認され、2022年4月1日から販売となった比較的新しい測定試薬である。まだ保険診療がなく健診や人間ドックにおけるオプションとして測定されているケースが多い状況であるが、今後保険収載されれば病院での導入が増えると予想される。</p>

令和7年度 第5回 臨床生理部門 Web型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【250018826】

テーマ	乳腺超音波検査に必要な知識を深めよう
開催日時	2026年1月31日（土） 14時00分～16時10分
会場	Web会場（Cisco Webex）
内 容	<p>乳腺超音波検査は、乳がんの早期発見に欠かせない重要な役割を担っています。臨床検査技師が乳腺超音波検査の質をさらに高めるためには、他の画像診断法や治療の全体像を理解することが不可欠です。そこで、今回は診療放射線技師の先生から超音波技師だからこそ知りたいマンモグラフィーの基本の「き」から、同じものがマンモグラフィーと超音波でどう違う見え方をするのかを解説していただきます。そして、乳腺外科の先生からは、超音波検査でみつかった所見が、最終的に患者さんの診断、具体的な治療（穿刺・手術・薬物療法など）にどう繋がっていくのかを解説していただきます。</p> <p>講演1：放射線技師の立場から伝えるマンモ・基本から症例まで 講師：静岡県立総合病院 放射線技術室 鈴木奈緒技師 (50分+質疑応答10分)</p> <p>講演2：小さな超音波所見が大きな一歩に・超音波診断から治療戦略へ 講師：コミュニティーホスピタル甲賀病院 乳腺外科 山崎宏和先生 (50分+質疑応答10分)</p>
備考	<p>開始時刻5分前にはWebex招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックしてWeb会場に入場してください。</p> <p>入場時には、マイクをミュート、カメラをオフでお願いします。</p>
申込・振込期間	2025年12月26日～2026年1月23日
申込定員	180名
申込方法	<p>1) メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。</p> <p>※メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。</p> <p>※操作法については静臨技HPをご参照ください。</p> <p>2) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。</p> <p>3) 受講料の入金確認後、Webex招待メールを送信します。</p> <p>※振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>
イベントURL	<p>https://event.menergia.jp/events/01K75TV1E1P8Q8C2CCFWXA02B3</p> <p>(イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)</p>
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円
問い合わせ先	<p>臨床生理部門 部門長 榊原康平（島田市立総合医療センター） TEL: 0547-35-2111(内線 3180) E-mail: kouhei0423@yahoo.co.jp ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。</p>
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

第25回 静岡血液フォーラム

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【250019423】

テーマ	血液のプロフェッショナルを目指して
開催日時	2026年 2月 8日 (日) 10時00分～17時00分 (受付 9時30分～)
会 場	グランシップ 1001 会議室
内 容	<p>第1講演 10時00分～ 『血球分析装置から判る 血液疾患の見方・考え方・血液像の形態』 東京大学医学部附属病院 常名 政弘 技師</p> <p>第2講演 11時30分～ ランチョンセミナー 『臨床で必要な線溶系検査の知識』〈 PHC 株式会社協賛 〉</p> <p>第3講演 12時30分～ 『末梢血液像・骨髄像の実践的見方』 愛知医科大学病院 中央臨床検査部 榎本 めぐみ 技師</p> <p>コーヒーブレイク 14時20分～〈RECORDATI RARE DISEASES 協賛〉 『寒冷凝集素症を正しく理解するために』</p> <p>第4講演 15時10分～ 『MDS の診断～MDS をマスターしよう！』 講師：NTT 東日本関東病院 後藤 文彦 技師</p>
備考	賛助会員、非会員の方で参加をご希望の方は下記問い合わせ先にメールでご連絡下さい。
申込期間	2025年 11月 1日～2026年 1月 11日
申込定員	200名 (現地：150名 Web：50名) *申し込み状況に応じて Web 定員は、増員を予定しております。
申込方法	1) メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。 ※ メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。 ※ 操作法については静臨技 HP をご参照ください。 2) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。
イベント URL	https://event.menergya.jp/events/01K7NBCJ1J6NV40H2X47MGDW52 (イベント URL は申込期間中のみ開示が有効です)
受講料	静臨技会員・日臨技会員 6,000 円／賛助会員 6,000 円／非会員 12,000 円
問い合わせ先	フォーラム事務局 山崎 啓介 (磐田市立総合病院) TEL : 0538-38-5000 (内線: 2851) E-mail : x.10af7@gmail.com
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
協 力	

令和7年度 第3回 病理細胞部門 Web型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【250023923】

テーマ	病理組織検体を用いた遺伝子検査と治療
開催日時	2026年2月14日（土） 13時00分～17時00分
会場	Web会場（Cisco Webex）
内 容	<p>現在、がんゲノム医療を提供する指定医療機関が全国に整備され、遺伝子パネル検査には主にホルマリン固定パラフィン包埋検体が使用されています。病理技師が遺伝子パネル検査に携わることは少ないですが、組織検体の取り扱いは一連のスタート地点です。私達が取り扱った組織検体が、病理診断を経て遺伝子パネル検査へ進み、患者様の治療にどのような役割を果たしているのか、トピックスも含め一緒に勉強しましょう。</p> <p>【講演1】がん遺伝子パネル検査における検体の取り扱いの重要性 シスメックス株式会社 青山怜至 氏</p> <p>【講演2】FoundationOne CDx/ FoundationOne Liquid CDx の特性と ゲノム検査の現状 中外製薬株式会社 松本和紀 氏</p> <p>【講演3】神経膠腫の治療薬に関する新情報（仮） 日本セルヴィア株式会社 藤原俊祥 氏</p> <p>【講演4】遺伝子検査と薬剤師の仕事について 焼津市立総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 小野田千晴 氏</p>
備考	開始時刻5分前にはWebex招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックしてWeb会場に入場してください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフでお願いします。
申込・振込期間	2025年12月15日～2026年2月10日
申込定員	180名
申込方法	<p>2) メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。 ※ メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。 ※ 操作法については静臨技HPをご参照ください。</p> <p>2) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。 3) 受講料の入金確認後、Webex招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KBPETDYZGM1VC57SR4X6D31R  右の二次元バーコードからもお申込みいただけます →
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円
問い合わせ先	病理細胞部門 部門長 内野 有子（富士市立中央病院） TEL: 0545-52-1131 E-mail: shizuoka.byouri@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和7年度 第3回 臨床一般部門 Web型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20点

行事コード【250024542】

テーマ	臨床一般部門フォトサーベイ報告会
開催日時	2026年2月22日（日） 14時00分～16時30分
会場	Web会場（Cisco Webex）
内 容	<p>静臨技会員の尿沈渣スキル向上を目的としたフォトサーベイを企画しました。 尿沈渣の知識・技術向上を目的として行います。 一般検査担当者の方は、奮ってご参加ください。</p> <p>「フォトサーベイ報告会」*12/20～2/10の期間で実施中です。 臨床一般部門の部門員による解説</p> <p>14:00～15:00 血球類解説 浜松医科大学医学部附属病院 萩谷健也技師 上皮細胞・異型細胞 静岡県立総合病院 田中佑佳技師</p> <p>15:10～16:10 円柱類・結晶類 聖隸沼津病院 高島麻倭子技師 寄生虫・その他 磐田市立総合病院 川井孝太技師</p> <p>16:10～16:30 総評 磐田市立総合病院 川井孝太技師</p> <p>16:30～17:00 質疑応答</p> <p>* フォトサーベイには下記URLまたは二次元コードから ご参加下さい。 https://x.gd/N9TYJ</p>
備考	開始時刻5分前にはWebex招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックしてWeb会場に入場してください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフでお願いします。
申込・振込期間	2025年12月20日～2026年2月15日
申込定員	180名
申込方法	<p>1) メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。 <u>※ メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。</u> <u>※ 操作法については静臨技HPをご参照ください。</u> <u>※ 2) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。</u></p>
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KC15C0KBK726CR3DJG0H4NWE (イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円
問い合わせ先	臨床一般部門 部門長 石川 秀和（中東遠総合医療センター） TEL: 0537-21-5555 E-mail: shizuokakenrinshouippann@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。
主 催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

静岡県開催のお知らせ

(重要事項)

静岡県内での開催は本講習会をもって最後になる可能性がございます。
未受講の会員様におかれましては、参加へのご検討をお願いします。

日 程	令和 8 年 3 月 1 日 (日)	受付時間：09：30～10：00 開始時間：10：00～17：50
会 場	ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ 401・402・407 会議室 (静岡県沼津市大手町 1-1-4 TEL : 055-920-4100)	
申込期間	令和 7 年 12 月 1 日 (月) ～令和 8 年 2 月 1 日 (日) ※基礎講習を履修することで実技講習への参加申込が可能となります	
入金期間	令和 7 年 12 月 1 日 (月) ～ 令和 8 年 2 月 19 日 (木) ※支払選択における払込票の選択期限は開催 20 日前となります。	
募集人員	60 名	
受 講 料	会員 15,000 円 / 非会員 40,000 円 (資料代含む)	
申込方法	日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」から申し込みください。	
そ の 他	詳細は、日臨技ホームページの「指定講習会専用ページ」および 静臨技ホームページの「お知らせ」をご確認ください。	
注意事項	締切日までに募集人数が 50 人に満たない場合は中止とします。 ご了承ください。	
問合せ先	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 担当 TEL: 03-5767-5541 (直通) E-mail : task-shift2@jamt.or.jp	

令和 7 年度 日臨技中部圏支部研修会

「臨床生理研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会中部圏支部
実務担当技師会：愛知県臨床検査技師会

【テーマ】「“わかる”から“できる”へ。実技でスキルを磨こう！」

【日 時】令和 8 年 2 月 14 日（土）13:00～17:00 15 日（日）9:00～12:00

【場 所】ウインク愛知

愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

【定 員】現地参加 150 名

【受講料】現地参加（オンデマンド配信込み）：日臨技 8,000 円 非会員 10,000 円

オンデマンド配信（講演のみ）：1,000 円

【日 程】

① 実技実習

a) 心臓・血管超音波検査

b) 腹部・表在超音波検査

c) 神経伝導検査

愛知県臨床検査技師会生理検査研究班班員

② 講演

「スキルアップ脳波検査—電極装着とアーチファクト対策—」

富士脳障害研究所附属病院 杉山 聰 先生

「現場で役立つ！呼吸機能検査の基本と精度管理—ガイドラインを実践に活かす—」

金沢大学附属病院 中出 祐介 先生

「MR 診断ナビ—心エコーで究める逆流の真相—」

三重ハートセンター 松林 正人 先生

「AS を描く技師の眼：心エコーで診断を支える」

富山大学附属病院 中川 夏輝 先生

「基本から学ぶ！関節＆肝臓エコー入門」

岐阜医療科学大学 松岡 涼太 先生

「見えない神経を“見える化”する技術—神経伝導検査とは—」

医療法人豊田会 割谷豊田総合病院 西脇 啓太 先生

③ ワークショップ

「心電図判読について」

「呼吸機能検査について」～声かけの工夫で検査失敗をなくそう～

愛知県臨床検査技師会生理検査研究班班員

【研修会詳細】

- 1) 参加者の方には2日間を通じて、①～③をローテーションで受講していただきます。
- 2) 実技実習はa)～c)の中から申し込み時に1分野選択していただきます。参加者全員が実機に触れて講師とマンツーマン指導を受けることができます。
- 3) 講演ではスケジュールの都合上、現地で聴講できるのは2演題となります。聴講できなかつた講演は後日、オンデマンド配信で視聴していただきます。現地聴講の演題は選択できません。予めご了承ください。
- 4) ワークショップでは心電図判読や呼吸機能検査の声掛けについて紹介し、ディスカッションや質疑にも対応する予定です。

【生涯教育】専門30点

【申込期間】令和7年10月1日～令和8年1月20日

【申込方法】

日臨技ホームページの会員専用ページからログインして事前参加登録・決済を行ってください。
現地参加にはオンデマンド配信が含まれます。重複しての申し込みはしないでください。



【受講料振込】

受講料は事前参加申込時にクレジットカード決済となります。
クレジットカード決済は日臨技会員のみ対応のため、非会員はクレジットカード決済が
できませんので、研修会事務局にお問い合わせください。

研修会事務局

〒448-8505 愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 臨床検査・病理技術科 西脇 啓太
Tel: 0566-25-8117(ダイヤルイン) FAX: 0566-25-8117
Email: kensa_nishiwaki@yahoo.co.jp

浜松ラボハーモ・カンファレンス2025

(Hamamatsu Laboratory Harmonization Conference)

臨床検査のDXと質保証・人材育成



期日：2026年1月25日（日）10:00～15:00

場所：浜松医科大学 臨床講義棟大講義室

静岡県浜松市中央区半田山一丁目20番1号

参加費：1,000 円（現地支払）

申し込み方法（URLかQRコードよりWEB入力）

<https://forms.office.com/r/pJCpaeQNE4?origin=lprLink>



★ Reversed CPC

★ 臨床検査領域のデータサイエンスの基礎

★ 医療DX・JLAC・共用基準範囲の最新動向

★ 未来に向けた人材育成への取り組み – 臨床・研究・マネジメント –

主催：浜松ラボラトリー・ハーモナイゼーション・カンファレンス

運営事務局 浜松医科大学医学部附属病院 検査部 山下計太

TEL 053-435-2723, E-mail keitay@hama-med.ac.jp

開催概要

開催名: 浜松ラボハーモ・カンファレンス 2025

期　　日：2026年1月25日(日)10:00~15:00

場 所：浜松医科大学 臨床講義棟大講義室

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松駅北口バスターミナル 13番より[50]市役所山の手医大行き「医科大学」下車徒歩3分

<https://www.hama-med.ac.jp/access.html>



参 加 費: 1,000 円 (定員 120 名、〆切: 定員に達するまで。現地支払い)

事前申込方法：下記の URL から WEB 入力し、送信ください。会期 1 週間前頃には、研修会テキストと参加登録書をメールにてお送りいたします。

<https://forms.office.com/r/pJCpaeQNE4?origin=lprLink>

入力ができない方など、ご不明な点がございましたら、研修会事務局までご連絡ください。



【研修会事務局】

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

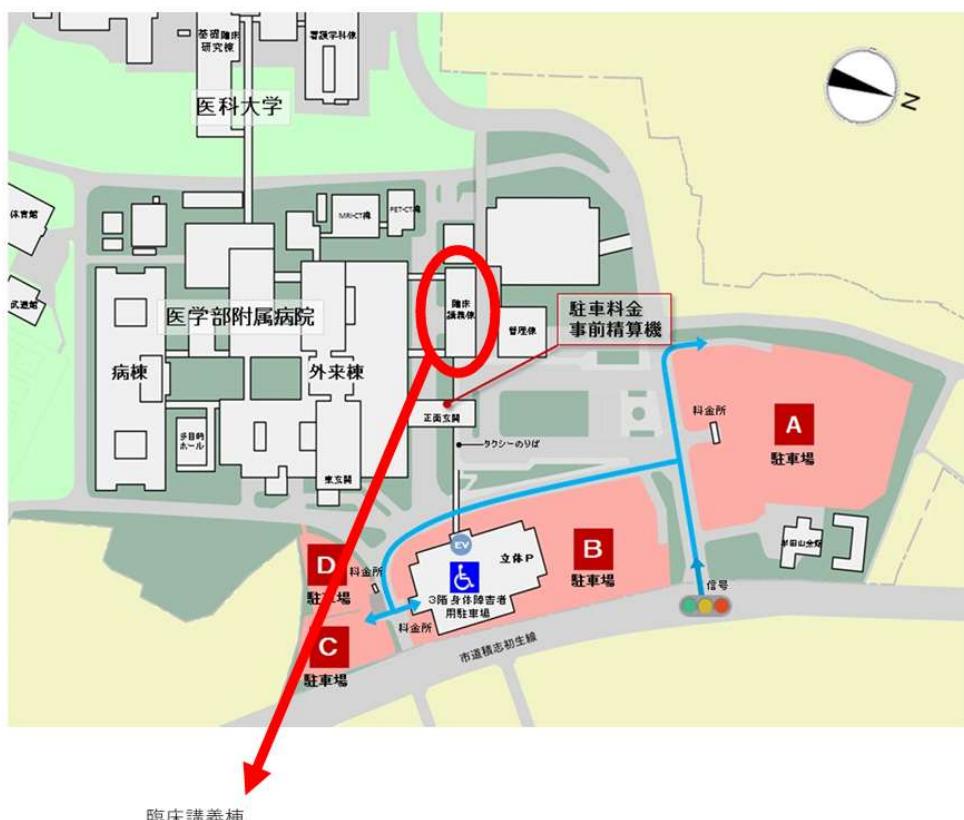
浜松医科大学医学部附属病院 検査部内

浜松ラボラトリー・ハーモナイゼーション・カンファレンス事務局

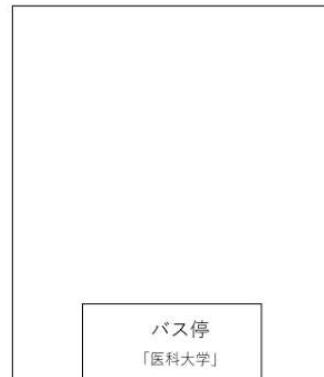
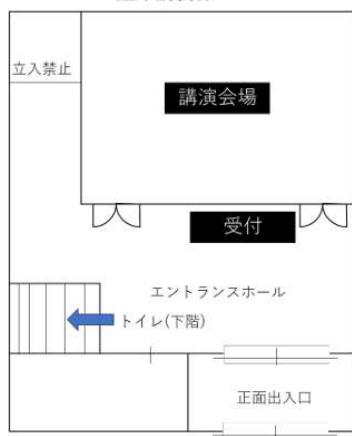
山下 計太； keitay@hama-med.ac.jp

当目受付：受付はエントランスホールにて**午前9時30分**より行います。

会場案内図
浜松医科大学 臨床講義棟大講義室



臨床講義棟



附属病院



プログラム

テーマ 臨床検査の DX と質保証・人材育成

10:00 開会の辞

総合司会：新関 紀康（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

【Reversed CPC】

10:05～11:05

コーディネーター 岩泉 守哉（浜松医科大学医学部附属病院 検査部 准教授・部長）

朝比奈 彩（静岡赤十字病院 検査部 副部長）

回答者（パネリスト） 静岡県内の医師・臨床検査技師

【教育講演】

11:10～12:10 医療 DX 時代に必要な臨床検査領域のデータサイエンスの基礎

座長 前川 真人

（浜松医科大学医学部 特命研究教授・名誉教授）

（浜松ラボラトリー・ハーモナイゼーション・カンファレンス 代表世話人）

講師 片岡 浩巳

（川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療データサイエンス学科・

医療技術学部 臨床検査学科 特任教授）

【ランチョンセミナー】

12:20～13:20 今、やらなければいけないことはなにか？—医療 DX、JLAC、基準範囲—

講師 堀田多恵子

（国際医療福祉大学成田病院・臨床検査技師長）

共催 株式会社エイアンドティー

【パネルディスカッション】

13:30~15:00 未来に向けた人材育成への取り組み－臨床・研究・マネジメント－

～医療 DX など検査業界の転換期を迎えて～

座長 山下 計太

(浜松医科大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長)

講師 石嶺 南生

(信州大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師長)

講師 菊地 良介

(岐阜大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長)

講師 多田 智紀

(香川大学医学部附属病院 医療技術部 検査部門長)

閉会の辞 15:05

2026年1月～3月の行事予定

※2025.12.26(金)～2026.1.31(土)

令和7年度 静岡県臨床検査精度管理調査報告会 オンデマンド配信中

2026年

1月

5(月)

～2/4(水) 中部圏支部臨床検査総合部門研修会 : オンデマンド配信

7日(水) 第3回静岡県臨床検査精度管理委員会 : Web

10日(土) 中部圏支部臨床一般部門研修会 : 佐伯記念ホール(富山県)

～11日(日)

17日(土) 第3回輸血細胞治療部門研修会 : 静岡労政会館

23日(金) 日臨技令和8年賀詞交歓会 : 都市センターホテル

25日(日) 浜松ラボハーモ・カンファレンス2025 : 浜松医科大学

30日(金) 第5回理事会 : 静臨技事務所

31日(土) 第5回臨床生理部門研修会 : Web

2月

8日(日) 第25回静岡血液フォーラム : グランシップ

14日(土) 第3回病理細胞部門研修会 : Web

14日(土) 中部圏支部臨床生理部門研修会 : ウインク愛知(愛知県)

～15日(日)

22日(日) 第3回臨床一般部門研修会 : Web

28日(土) スタートアップ研修会 : ARTIE Bolo

3月

27日(金) 第6回理事会 : 静臨技事務所

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求人情報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院 久留島幸路まで。

E-mail : osigoto@amt.or.jp

TEL : 0538-38-5000

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技HP；入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用E-mailアドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samtjim@amt.or.jp

2026年1月吉日

編集後記

皆さん、お疲れさまです。本年もよろしくお願いいたします。

寒い日が続きますが、本日は雨。10°Cを超えると「暖かい雨」と感じてしまいます。先日、アウトレット品のチューリップ球根を植えました。ついでに原種のチューリップも購入し、明後日植える予定です。最近は原種がマイブームです。11月に迎えた原種シクラメン・コウムの、優さの中にある強さに惹かれ、さらにスミレ、雪割草、イワシャジンと手が伸び、小さな庭は少々賑やかになっています。方向が定まらず、山野草からオージープランツ（オーストラリア産）、ミニバラやパンジービオラにマーガレット（笑）。ガーデニング2年目、どこへ向かうのか楽しみです。

先日、「メダカの冬眠ってどうなるの？」と質問をいただきました。

メダカは水温が下がると心拍数が減り、水底でじっと過ごします。餌もほとんど食べず、最低限の生命維持に移行します。金魚も同様です。真冬に水が凍っても、底で静かに耐えています。冬のメダカは足し水と毎日の見回りが中心になります。

これから冬本番です。インフルエンザやCOVID-19もまだ見られます。皆さん、どうぞ体調管理にお気をつけてお過ごしください。私は、年末年始はどこにも行かず、庭仕事にいそしみます。

（高橋）

